

# TOPICS 1 2013トラフィック・セーフティ・フォーラムin埼玉 安全に強い職場作りと人材の育成



開会の挨拶を述べる(株)レインボーモータースクールの永田春記代表取締役社長

11月8日、埼玉会館小ホール(埼玉県さいたま市)で「2013トラフィック・セーフティ・フォーラムin埼玉」が開催された(主催:交通安全教育センターレインボー埼玉・和光)。このフォーラムは、交通安全活動に取り組み企業や団体を対象に事故防止の施策などの情報交換を目的に行われており、この日は企業・団体から261名が参加した。

開会にあたり、(株)レインボーモータースクールの永田春記代表取締役社長と、来賓を代表して埼玉県警察本部の石川美津夫交通部長が挨拶を行った。

今年のテーマは「安全に強い職場作りと人材の育成」。交通事故防止活動の好事例として、3つの企業の安全担当者が発表を行った。

本田技研工業(株)安全衛生管理センターの水田裕史所長は、社内の交通安全基本理念として「心・技・態」を紹介。思いやりの心と危険予測の技をベースに、自分の運転行動が他者の模範となる態度を身につけて、体現することをめざしている。



東日本電信電話(株)千葉支店通信レスキュー隊 林暁彦隊長



三菱電機ビルテクノサービス(株)関越支社安全衛生課 小川正寿課長



本田技研工業(株)安全衛生管理センター水田裕史所長

説明し、事故を起こした場合は「心・技・態」の何が足りなかったのかを検証することが重要であると述べた。

三菱電機ビルテクノサービス(株)関越支社安全衛生課の小川正寿課長は同社の業務用車両の事故防止の仕組みを紹介。社内適切な指導ができる安全運転指導員の養成や、業務用車両に取りつけたセーフティレコーダーから取得できるデータを活用した指導について解説した。

東日本電信電話(株)千葉支店通信レスキュー隊の林暁彦隊長は、災害時における同社の責務と災害対策の考え方を説明。1996年に発足したオフロードバイクによる通信レスキュー隊の歩みを振り返るとともに、交通安全教育センターレインボー埼玉で実施している同隊の訓練の様子を映像で紹介した。

3社の発表後には質疑応答の時間が設けられ、会場の参加者之间で活発な意見交換が行われた。

※セーフティレコーダー=「いつ、どこで、どんな操作をしたか」を記録する車載機。時刻、位置、速度に加えて、アクセルやブレーキ、ハンドル操作の強さをデータとして取得できる。

## 2 第14回セーフティジャパンインストラクター競技大会 ホンダのインストラクターの指導力と運転技術の向上・均質化をめざして



今大会には7カ国から総勢64名のインストラクターが参加

11月14日、15日の両日、鈴鹿サーキット交通安全教育センター(三重県鈴鹿市)にて、「第14回セーフティジャパンインストラクター競技大会」が開催された(主催:本田技研工業(株)安全運転普及本部)。この大会は、安全運転普及の各分野で活躍するホンダの安全運転インストラクターの指導力ならびに運転技術の向上・均質化を図る場と機会の提供を通じ、世界に通用するインストラクターの育成を目的に1997年より開催されている。今回は国内から42名、海外はシンガポール、タイ、フィリピン、インド、インドネシア、マレーシアの6カ国から22名、総勢64名が参加した。

選手は、グループA(国内交通安全教育センター)、グループB(本田技研工業(株)、本田技術研究所、ホンダエンジニアリング(株)、グループC(海外連結子会社・関連会社)の3カ国から総勢64名が参加した。



二輪「コーススラローム」



四輪「縦列駐車/車庫入れ」



「Safety Driving Managers Meeting」には8カ国からHondaの事業所の安全運転普及活動推進責任者21名が参加

※指導力審査=安全運転の指導者としての幅広い知識と指導力を確認することが目的で、インストラクター3名1組がそれぞれメインインストラクター・サブインストラクター・受講者役となり、与えられたテーマについての指導方法を競う。

## 3 宮城光スポーツライディング バイクを安全に楽しく運転してもらうために



元Hondaワークスライダーの宮城光さんが運転姿勢など基本から指導

「自分の運転に対する客観的評価をもらえたことが、参考になりました。ツーリングの時、今以上に安全にバイクを楽しみたい」と感想を話した。宮城さんが講師となるライディングスクールは、12月14日に交通安全教育センターレインボー熊本、3月12日に鈴鹿サーキット交通安全教育センターでも開催される。

11月17日、交通安全教育センターレインボー埼玉で「宮城光スポーツライディング」が開催された。これは、元Hondaワークスライダーの宮城光さんが講師を担当するライディングスクールで、バイクを安全に楽しんでもらうための運転技術を受講者に身につけてもらうことを目的としている。



※詳細は右記のホームページを参照。http://www.honda.co.jp/safetyinfo/recreation/

宮城さんは受講者一人ひとりの運転を確認し、適切なアドバイスを行う